

Can-Do List 資質・能力のまとめ

教科書各章のとびらに記載している「Can-Do List」は、3観点の「資質・能力」の例を示しています。
その文言をまとめた資料です。

1-1 動植物の分類

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 身近な生物の観察 (p.22-31)	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の調べ方や観察のしかたを身につける。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○生物の特徴を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくらることができる。(学年目標) ○基準を設定し、それにもとづいて生物を分類できる。 ○観察結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
第2章 植物の分類 (p.32-47)	<ul style="list-style-type: none"> ○花のつくりとはたらきを説明できる。 ○植物がからだのつくりにもとづいて分類できることを説明できる。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○植物の特徴を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくらることができる。(学年目標) ○基準を設定し、それにもとづいて植物を分類できる。 ○観察結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
第3章 動物の分類 (p.48-59)	<ul style="list-style-type: none"> ○脊椎動物の分類と、その基準について説明できる。 ○節足動物と軟体動物のからだのつくり、脊椎動物とのちがいを説明できる。 ○動物の特徴を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくらることができる。(学年目標) ○基準を設定し、それにもとづいて動物を分類できる。 ○観察結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
評価の考え方 ※各評価の項目には、A基準の内容を示す。	<p>A：各項目の内容を満たしている。 B：穴埋めテストなどはできる。→知識はついているが、Aには達しない。 C：十分な知識がついていない。</p>	<p>A：各項目の内容を実現できている。 B：各項目の内容を実行しようとしているが、十分できているとはいえない。 C：成果が十分でない。</p>	<p>A：各項目の内容に対して、積極的・意欲的である。→興味・関心が高いと判断できる。 B：中程度に積極的・意欲的である。 C：明らかに積極性が薄い。</p>

1-2 身のまわりの物質

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 物質の分類 (p.68-83)	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の性質を調べる方法、物質を分類する基準を説明できる。 ○物質に決まった密度があることを説明できる。 ○目に見えない現象をモデルで表現できる。 ○実験器具を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○物質の特徴や変化を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○実験結果から、物質とその性質の決まりや関係を見いだすことができる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 粒子のモデルと物質の性質 (p.84-105)	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の溶け方を粒子のモデルで説明できる。 ○溶解や再結晶を溶解度曲線で説明できる。 ○気体もつ性質を説明できる。 ○物質の特徴や変化を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○実験結果から、物質とその性質の決まりや関係を見いだすことができる。 ○実験結果について粒子のモデルを使って考察できる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 粒子のモデルと状態変化 (p.106-123)	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の状態変化を粒子のモデルで説明できる。 ○状態変化の考えで、蒸留を説明できる。 ○実験器具を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○物質の特徴や変化を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○実験結果について粒子のモデルやグラフを使って考察できる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

1-3 身のまわりの現象

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 光の性質 (p.132-155)	<ul style="list-style-type: none"> ○光の反射と屈折の決まりを光線のモデルで説明できる。 ○凸レンズを使ったときできる像について光線のモデルで説明できる。 ○光の性質や変化を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○光の変化に関係する要因と、それにもなう変化を明らかにすることができる。 ○実験結果から、光に関わる現象を光線のモデルで表現できる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 音の性質 (p.156-165)	<ul style="list-style-type: none"> ○音を波の性質で説明できる。 ○音の大小・高低を、振動で説明できる。 ○音の性質や変化を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○音の変化に関係する要因と、それにもなう変化を明らかにできる。 ○実験結果や考察などを、他者に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力ができる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 力のはたらき (p.166-183)	<ul style="list-style-type: none"> ○力がはたらいている場面を見いだすことができる。 ○力とばねののびの関係を説明できる。 ○2力のつり合う条件について力の矢印で説明できる。 ○力の種類を説明できる。 ○力の特徴や変化を、言葉・図・表を用いて記録できる。 ○実験結果から表をつくり、その表をグラフにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○現象の変化に関係のある要因と、それにもなう変化を明らかにできる。 ○グラフの縦軸と横軸を関係づけて読み取ることができる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

1-4 大地の活動

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 火山～火を噴く大地～ (p.192-209)	<ul style="list-style-type: none"> ○マグマのねばりけと火山の形の関係を説明できる。 ○マグマと火山灰、火成岩、鉱物の関係を説明できる。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○鉱物や岩石の特徴を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○基準を設定し、それにもとづいて鉱物や岩石を分類できる。 ○観察の結果、考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返し、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 地層～大地から過去を読みとる～ (p.210-229)	<ul style="list-style-type: none"> ○堆積岩の種類について説明できる。 ○過去の環境や年代を推定する方法を説明できる。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○堆積岩や地層の特徴を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○現象を空間的に考え、平面的に表現できる。 ○現象の位置・大きさ・時間をスケールを示しながら図で表すことができる。 ○基準を設定し、それにもとづいて鉱物や岩石を分類できる。 ○観察の結果、考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返し、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 地震～ゆれる大地～ (p.230-253)	<ul style="list-style-type: none"> ○地震のゆれの大きさの表し方や、伝わり方の決まりを説明できる。 ○地震の原因と地球内部のつくりを関連づけて説明できる。 ○地震にともなう大地の変化を説明できる。 ○火山や地震などを原因とする恵みや災害を説明できる。 ○地震のゆれの特徴を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問に感じたことなどから、探究の課題をつくることができる。(学年目標) ○現象を空間的に考え、平面的に表現できる。 ○現象の位置・大きさ・時間をスケールを示しながら図で表すことができる。 ○資料などから、地震と大地のつくりの関係を見いだすことができる。 ○実習の結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返し、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

2-1 化学変化と原子・分子

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 物質のなりたちと化学変化 (p.16-41)	<ul style="list-style-type: none"> ○物質は原子や分子からできており、化学式で表されることを説明できる。 ○化学変化により物質を結びつけたり、分解したりできることを説明できる。 ○実験器具や薬品を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の変化について原子モデルを使って仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○実験結果について、原子・分子のモデルを使い、分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返し、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 化学変化と物質の質量 (p.42-57)	<ul style="list-style-type: none"> ○化学反応式の書き方や、化学反応式が表す意味について説明できる。 ○実験結果をグラフに表すことができる。 ○実験器具や薬品を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 ○実験結果から表をつくり、その表をグラフにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の変化について原子モデルを使って仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○実験結果について、原子・分子のモデルを使い、分析して解釈することができる。 ○表をグラフにして、グラフから縦軸と横軸を関係づけて読み取ることができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返し、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 化学変化の利用 (p.58-69)	<ul style="list-style-type: none"> ○還元について説明できる。 ○化学変化には熱の出入りがともなうことを説明できる。 ○実験器具や薬品を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物質の変化について原子モデルを使って仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○実験結果について、原子・分子のモデルを使い、分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返し、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

2-2 動植物の生きるしくみ

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 生物のからだと細胞 (p.76-87)	<ul style="list-style-type: none"> ○生物のからだは細胞からできていることを説明できる。 ○植物と動物の細胞のつくりの特徴を説明できる。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○基準を設定し、それにもとづいて細胞を分類できる。 ○観察結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
第2章 植物のつくりとはたらき (p.88-107)	<ul style="list-style-type: none"> ○植物のからだの各部分を蒸散と関連づけて理解する。 ○植物のからだの各部分を光合成や呼吸と関連づけて理解する。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立てることができる。(学年目標) ○変化させる条件と一定にする条件を決めて実験計画を立てることができる。(学年目標) ○観察結果を分析して解釈し、植物のつくりとはたらきの関係を見いだすことができる。 ○観察結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
第3章 動物のつくりとはたらき (p.108-139)	<ul style="list-style-type: none"> ○動物が生命を維持するしくみについて、ヒトを例に説明できる。 ○動物がからだを動かすしくみについて説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立てることができる。(学年目標) ○変化させる条件と一定にする条件を決めて実験計画を立てることができる。(学年目標) ○実験結果を分析して解釈し、動物のつくりとはたらきの関係を見いだすことができる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。

2-3 電流とそのはたらき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 電流と電圧 (p.146-181)	<ul style="list-style-type: none"> ○回路を流れる電流、電圧、抵抗の決まりを説明できる。 ○調べる目的に応じて適切な計測器を選び、正しく使うことができる。 ○測定した値から、目的に応じた量を計算することができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 ○実験結果から表をつくり、その表をグラフにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立てることができる。(学年目標) ○変化させる条件と一定にする条件を決めて実験計画を立てることができる。(学年目標) ○グラフの縦軸と横軸を関係づけて読み取ることができる。 ○実験結果や考察を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 電流と磁界 (p.182-203)	<ul style="list-style-type: none"> ○磁石のまわりにできる磁界のようすを理解できる。 ○電流、磁界、力の関係を理解できる。 ○調べる目的に応じて適切な計測器を選び、正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立てることができる。(学年目標) ○変化させる条件と一定にする条件を決めて実験計画を立てることができる。(学年目標) ○結果を分析して解釈し、電流と磁界の関係を見いだすことができる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 電流の正体 (p.204-213)	<ul style="list-style-type: none"> ○電流と電子の関係を説明できる。 ○放射線について説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○結果を分析して解釈し、電子の性質を見いだすことができる。 ○実験結果や考察などを、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

2-4 天気とその変化

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 大気 の性質と雲の でき方 (p.224-241)	<ul style="list-style-type: none"> ○圧力や気圧について説明できる。 ○露点と湿度について説明できる。 ○雲のでき方について理解できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○実験の結果を分析して解釈し、気象要素と雲の発生を関連づけることができる。 ○観察や実験の結果や考察を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 天気 の変化 (p.242-253)	<ul style="list-style-type: none"> ○気象要素と天気との関係を説明できる。 ○天気図と風のふき方との関係について説明できる。 ○前線の種類と天気の変化のしかたについて説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○現象を空間的に考え、平面的に表現できる。 ○現象の位置・大きさ・時間をスケールを示しながら図で表すことができる。 ○観察結果や考察を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 日本 の天気 (p.254-271)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の天気や季節と、高気圧、気団、季節風、海洋の関係を説明できる。 ○それぞれの季節に特徴的な気圧配置や天気などについて説明できる。 ○気象の変化に関わる恵みや災害について説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題から仮説を立て、仮説を確かめる実験を計画できる。(学年目標) ○現象を空間的に考え、平面的に表現できる。 ○現象の位置・大きさ・時間をスケールを示しながら図で表すことができる。 ○探究の結果や考察を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

3-1 運動とエネルギー

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 力のつ り合い (p.14-31)	<ul style="list-style-type: none"> ○水圧と浮力の関係を説明できる。 ○2力の合成のしかた、分解のしかたを説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○実験結果を分析して解釈し、力とはたらしきの関係を見いだすことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 力と運 動 (p.32-47)	<ul style="list-style-type: none"> ○運動は速さと向きで表せることを説明できる。 ○力を受け続ける運動と物体の速さの関係を説明できる。 ○測定した値から、目的に応じた量を計算できる。 ○実験器具を正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○グラフから、縦軸と横軸を関係づけて読み取ることができる。 ○実験結果を分析して解釈し、力とはたらしきの関係を見いだすことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 仕事と エネルギー (p.48-71)	<ul style="list-style-type: none"> ○物体のもつエネルギーの量は、他の物体になしうる仕事で測れることを説明できる。 ○エネルギーにはいろいろな種類があり、たがいに移り変わることを説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○グラフから、縦軸と横軸を関係づけて読み取ることができる。 ○実験結果を分析して解釈し、運動とエネルギーの関係を見いだすことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

3-2 生物どうしのつながり

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 生物の成長・生殖 (p.78-93)	<ul style="list-style-type: none"> ○細胞分裂を生物の成長と関連づけて説明できる。 ○有性生殖や無性生殖のしくみを説明できる。 ○拡大する部分に応じて、正しく観察器具を使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○観察の結果を分析して解釈し、生物の成長・生殖と細胞との関係を見いだすことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
第2章 遺伝と進化 (p.94-113)	<ul style="list-style-type: none"> ○有性生殖・無性生殖のしくみとその特徴を説明できる。 ○有性生殖のしくみとその特徴を遺伝子もちいて説明できる。 ○進化について説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○探究の結果を分析して解釈し、生物の特徴と遺伝子の関係性を見いだすことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。
第3章 生態系 (p.114-129)	<ul style="list-style-type: none"> ○生態系という見方で、生物を関連づけて説明できる。 ○生態系で物質が循環するしくみについて説明できる。 ○生態系における生物量のつり合いが保たれていることを説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○探究の結果を分析して解釈し、生物どうしの関係性を見いだすことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物を大切にし、むやみに傷つけない。

3-3 化学変化とイオン

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 水溶液とイオン (p.134-151)	<ul style="list-style-type: none"> ○原子のつくりを説明できる。 ○溶解をイオンの化学式で説明できる。 ○電気分解を化学式で説明できる。 ○実験器具や薬品を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○実験結果について、イオンのモデルを使い、分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 酸・アルカリとイオン (p.152-169)	<ul style="list-style-type: none"> ○酸性やアルカリ性の強さはpHで表されることを説明できる。 ○酸とアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを説明できる。 ○酸とアルカリを混ぜると、水と塩が生成することをイオンの化学式で説明できる。 ○実験器具や薬品を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○実験結果について、イオンのモデルを使い、分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 電池とイオン (p.170-181)	<ul style="list-style-type: none"> ○金属の組み合わせによって、化学変化の起こり方にちがいがあつて説明できる。 ○電池をイオンと電子のモデルで説明できる。 ○実験器具や薬品を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○実験結果について、イオンを原子のモデルを使い、分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

3-4 地球と宇宙

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1章 太陽系と宇宙の広がり (p.192-203)	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽系を構成する天体について説明できる。 ○太陽系よりも外の広がりについて説明できる。 ○観測器具を、安全に気をつけて正しく使うことができる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観測の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、観測の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○天体の位置・大きさをスケールを示しながら図で表すことができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第2章 太陽や星の見かけの動き (p.204-225)	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽の日周運動・年周運動を、地球の自転・公転と関連づけて説明できる。 ○星の日周運動・年周運動を、地球の自転・公転と関連づけて説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○現象を空間的に考え、平面的に表現できる。 ○探究の結果を、天球のモデルや視点の移動などで分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。
第3章 天体の満ち欠け (p.226-235)	<ul style="list-style-type: none"> ○月の見え方を、太陽・地球・月の位置関係にもとづいて説明できる。 ○金星の見え方を、地球、太陽、金星の位置関係にもとづいて説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○現象を空間的に考え、平面的に表現できる。 ○探究の結果を、天球のモデルや視点の移動などで分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。

3-5 自然・科学技術と人間

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
持続可能な開発目標を意識して私たちにできることを話し合っていこう (p.242-263)	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 ○これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかわりについて説明できる。 ○探究の手順や結果を、言葉・図・表を用いて記録できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の結果や考察にもとづいて課題や仮説をふり返り、探究の過程全体が無理なく適切かを考えることができる。(学年目標) ○探究の結果を分析して解釈することができる。 ○探究の過程を、ほかの人に伝えることを意識して表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容に興味や関心を持ち、進んで取り組むことができる。 ○自分が今やっていることをふり返り、改善しようとする。 ○ほかの人と考えを出し合い、協力できる。 ○日常生活で感じた疑問を学習に結びつけたり、学習した内容を日常生活に当てはめたりして考えることができる。 ○生物や自然環境を大切にし、持続可能な社会の大切さを理解する。